

は し が き

第12回のプログラミング・シンポジウムが開かれることになった。10回目に近くなると、いろいろと意見が出て来て、特にプログラミング・シンポジウムのあり方についても、活潑に論議されて来た。今になって見ると、情報処理に関する関心、その内容に関する質的向上と利用の範囲の拡張、多様化に伴う生長への要望などを目指して、このような場があることが、のぞまれていると思える。

今回は参加者数 250 に近いということで、果してシンポジウム本来の意味を十分に発揮できるかどうかの実験場ともなった。幹事団の人々の非常な努力で、今回も成功するとは信ずるものの、この運営は正に大変なものであろうと、推察もしている。

プログラミング・シンポジウム委員会は、さらに将来のためとして、夏の小集団の二つのシンポジウムで、濃縮された討論が行なわれて、その成果がここで報告されるようにした。また将来をにらむ人々の集団である、若手の会の手助けをも意味あるものとして、わずかな手をかけた。これについてもこのシンポジウムで報告してもらうことにしている。

参加者各位が、このようなことを心にとめておいて、このシンポジウムを意味あるものにして下さることを、切に望む次第である。

有山幹事長をはじめとする幹事団のほぼ1年に近い間の努力に対して深く感謝する次第であるが、事務を担当して下さった慶応工学会の人々にも感謝の意をあらわしたい。

プログラミング・シンポジウム委員会

委員長 山 内 二 郎

本 PDF ファイルは 1971 年発行の「第 12 回プログラミング・シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトの https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html に下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載して、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場 (=情報処理学会電子図書館) で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者（論文を執筆された故人の相続人）を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者検索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思います。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 (tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間：2020 年 12 月 18 日～2021 年 3 月 19 日

掲載日：2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>